



つばさっ子

2012年 8 月号



今月の予定



3日(金)	ぞう組お泊り保育	
4日(土) ~午前 8:00まで	ぞう組お泊り保育	
18日(土) 午後 18:30~20:30	りす懇談会	※子どもの休みが多いので
25日(土) 午前 9:00~11:00	うさぎ懇談会	年間行事予定表の日程よ
31日(金) 午前 10:00~	お誕生日会※	り変更しています

○初任者研修・・・熊取町内4小学校の先生が5名

○保育実習・・・和歌山信愛短大の学生が1名 来ます



看板作ってもらいました



7/7(土)ガーデニングという名の

草刈お手伝いありがとうございました

前日の予報が雨、当日朝も小雨が降っていたので、中止とアナウンスさせてもらいましたが、雨が止んだため園にいたメンバーで決行させていただきました。ご協力を名乗り出下さっていた方もありがとうございます。

(ご協力家庭)

小笹さん父・息子 木岡さんご一家

吉沢さん 塩田さん(アトムパート職員)



千代田短期大学の竹内先生と
竹内ゼミ:土居さん・西尾さん(7/5撮影)



水遊びはじまりました

水道をひねるとあちこちから

水が飛び出る仕組み♪中庭にて。



7月のできごと

市原悟子

その① 職員が1名増えました。

川崎理恵子さん（准看護師資格取得者）7月3日から勤務してもらっています。主に0歳児、4歳児の保育を担当します。どうぞよろしくお願いします。

その② つばさの看板を作ってくれました。

千代田短期大学竹内ゼミの学生さんたちが看板を作ってくれて7月5日に竹内先生と2人の学生（土居、西尾）さんが持って来てくれました。竹内先生にはアトム時代からお世話になっております。職員の山本、宮下は竹内ゼミの卒業生です。アトムでは園庭に小屋、一本足の下駄、竹馬を作ってくれました。竹内ゼミでは体育活動を主にしながら幼児の発達に着目したおもちゃづくりをしているそうです。今回の看板作りには15名のゼミ生が4月から準備開始週1回の作業で2か月かかり完成させてくれたそうです。土居、西尾の兩人にインタビューしたら

作業内容 ①糸鋸で木材を切り抜く作業 ②文字を接着剤でくっつける ③木材を磨く
④オイルスチンを塗る ⑤文字をネジで固定する。5つの工程作業でした。

この作業で一番難儀したところは糸鋸で文字を切り抜くところで作業中メチャクチャ暑かったこと。全員で集まることが難しかったので少人数の負担になったけど完成したら思ったより完成度が高かったので『うれしかった』と笑顔で語ってくれました。

看板の設置場所は道路側給食室の壁面を考えています。

その③ 園庭開放の参加者からうれしい申し出がありました。

育児支援の一つとして家庭育児の親子を対象にした「園庭開放」を随時行っています。ある日、利用者の方から自分で作ったものですがと縄で作ったブランコを持ってきてくれました。ホール横のテラスに設置したら子どもたちは大喜びで乗っていました。ひよこぐみではハンモックにも使えるので多く作ってもらうようにしました。



その④ 7月26日(木)職員会議を行いました。

先月の繰り越し課題で「新保育システム」についての学習会を大野、宮下が中心になって行いました。これまで政策に関してあまり興味も持たず、新聞を読むこと、ニュースを聞くことも意識してこなかったことを二人とも反省していました。

新保育システムが国会で可決したら熊取ではどのようなことがおこるのかを予想しながら意見交換しました。

大阪市は保育所の企業参入を認めました。社会福祉法人が経営する保育所と企業が経営する保育所では何がどう変化するのか、それは子ども、親にとってどう影響するのか、来月の職員会議では、熊取に当てはめて考えることにしました。

第1回 父親懇談会の報告です

日時：7月21日(土) 午後6時30分から8時30分

つばさ共同保育園初めての父親懇談会を開催しました。開始30分はホールで子ども達の園での様子等をスライド上映、その後3グループに別れて同じ年頃の子どもをもつお父さんどうしで交流をしました。各グループでテーマを設定して交流しました。

0・1歳児グループ(川口、濱田、大森、松村、高瀬、敬称略)

テーマ「子育てについての交流 ～子どもへの対応で心がけている事って何ですか?～」

はじめて顔を合わすお父さん方が多かったのでゆっくりと自己紹介を行い子どもへの対応で心がけている事などを聞いてみました。その中で「初めての子どもでまだ小さい我が子にどう怒ったらいいのか?」という質問があったので、参加していた先輩お父さんから「悪い事をした時はきちんと怒るようにしていますよ」「言葉は分からなくても目を見てきちんと伝えるようにしています」という意見がでたり自然な交流ができました。その他園への質問を聞いてみました。その中で「園庭になぜ遊具をおかないのか?」という父からの素朴な質問があり、園長からその事に対する説明がありました。

2・3歳児のグループ(向坂、大西、木岡、青木、保手浜)

テーマ「自己紹介 ～父親としてどのように我が子と接していますか?～」

初めに自己紹介を行い、テーマへの意見を聞きました。その中で「自分は子どもには甘いと思う、それは自分がそのように育ってきたからかもしれない」という子ども時代の振り返りがありました。また「2、3歳でヤンチャしても母が怒って済んでしまう事が多いから父がガツンとしかる出番はない」、そこから「父親が怖い存在であるべきなのか?」についての話になりましたが「自分の父も怖かったけれどそんな父でも好きであった。今は子どもと共通の趣味を持って楽しみを共有したい」など、自分らしい父親像がある事が聞けました。「母親と父親の役割は?」保育士から質問してみると参加者全員が「特に役割は決めていなく、出来る人が出来る事をするようになっている」と。分担制にならないくらい積極的に家の事をしている父が多く、土日は料理や掃除などもしているそうです。

4、5歳児グループ(吉澤、小笹、樹田、萬田、谷野、山本)

テーマ「自己紹介(仕事、家庭、趣味みんなはどんなふうに両立?) ～父親としての役割は?～」

自己紹介では「子どもと一緒に趣味を楽しんでいる」「家の事は一通りしてからでかける」「今の所趣味がないのでいずれ見つけたい」との事です。テーマについての意見は「特に意識していないが、子どもに怒る時は父と母とで同時に怒る事はやめて自然とフォローに回ったりするようにしている」という意見が殆どでしたが、実際は「ついつい感情的に怒ってしまう事もあり、反省」という事も本音のようです。話の中で自分の育ちを振り返り「自分は父とはほぼ会話等した事がなく育った。仕事で忙しかったのだと思う」父と触れ合う事のなかった育ちを振り返ると、父親の役割とは何だったのか?何もしなくて仕事だけに打ち込めば子は育つのだろうか?何かポイントがあるのでは?その疑問が湧きましたが、今回はその答えは出ませんでしたのでまた次回に持越しです。

お父さんの感想です(同じ意見は集約させて頂きました)

- ★園での子どもの様子がよくわかりました、他のお父さんの話も聞けて今後の参考にしたいと思いました。
- ★保育士の方の熱意とちょっぴりのドキドキ感が伝わってきて良かったです
- ★初めてですが参加して良かったです。園長先生の話も分かりやすくよかったです。
- ★参加者が固定されがちにならないだろうかと思いました、保育士のかたは大変かもしれませんが土曜日以外の日程などを考えてもいいのではないかと思います。
- ★皆さんの話を聞いて、あまり子どもに頭ごなしに怒らないように意識しようと思いました。

新任職員の父親懇談会の感想

- *担任を受け持っていないので、懇談会自体に参加したことがなく、父親懇談会を楽しみに全クラスを見学した。子育てをし懇談会に参加する父親がいいなあと感激した。
- *自分が子育て中の10年前の父と今の父の大きな変化を感じた。
例えば10年前、家事をする父親はみんなから驚かれていたが今や当たり前に行っている話だった。
- *普段の母親が多い懇談会でも緊張するので父親懇談会はさらに緊張したが、父の話を聞くうちに緊張感は薄れ、家での父親ぶりが聞けて、父親が少し理解できて良かった。
- *子育てに積極的な父親に驚いた。と同時に自分の父親も自分を育てるときこのような気持ちだったのかと自分の親と重ねながら話を聞いていた。
- *普段の懇談会とは雰囲気まるで違った。父親のやさしさ、懐の大きさを感じた。
初めての場所でもすぐ話ができる父に驚いた。
- *送迎で顔を合わすことがない父親に緊張したが、普段聞けないことを聞いたのが良かった。
- *父親懇談会の意義を実感した。

7月保育行事の報告

仲嶺 真弓

《2・3・4・5歳児 交通安全教室をしました。 7月3日（火）》

子どもの交通事故を防止する為、熊取町事業部道路課(管理交通グループ)が各小学校・保育園(所)で交通安全教室を実施してくれています。

当日は、ホールでお巡りさんが、信号機の説明をしてくださいました。“赤は止まれ、青は進め、黄色は気を付けて進め・・・ではなく止まれだよ。”の話と、交差点や曲がり角で気を付ける3つの約束の話をしてくださいました。3つの約束の内容は、“交差点では、①歩いて②止まって③よく見る。”

晴れていれば園庭で、ミニ信号や踏切も設置して、実技指導も行う予定でしたが、あいにくの雨で実技指導はなくなりました。

不審者避難訓練をしました。 7月19日（木）》

泉佐野警察署生活安全課に、講師派遣をお願いし、不審者避難訓練と防犯教室を実施しました。不審者避難訓練を実施するにあたり、ぜひプロの目で見てアドバイスをしてほしい思いがあったので、警察署に相談しました。しかし、保育園で子どもと共に不審者避難訓練をするのは珍しいらしく、「保育園ですのですか？ ほとんどの保育園は防犯教室だけですよ。」という反応でしたが、どうしても現場の園をみてもらい避難経路とかを教えていただきたかったので、諦めずにお問い合わせし実現しました。

当日は警察の方に不審者役をしていただき、職員の対応や動きを見て具体的なアドバイスもいただけたことも参考になりました。

子ども達は、室内からその様子を見た後4・5歳児はホールに集まり、お巡りさんと一緒に5つの約束をしました。

- ① 1人で遊ばない。
- ② 知らない人について行かない。
- ③ 怖い時は大きな声で助けを呼ぶ。
- ④ 「誰と、どこで遊ぶ」「いつ帰るか」を言ってでかける。
- ⑤ 友達が連れて行かれそうになったら大人の人に知らせる。

5つの約束を何度か子ども達と楽しく復唱して防犯教室を終えました。

《行事を通して思うこと。》

5月は、消防士の方と、7月は、お巡りさんと関わる機会がもて子ども達は、「消防士のおじさんや！」「お巡りさんが来た！」とはしゃいでいました。そして、話してくれる消防士、お巡りさんを見る子ども達の眼差しは、真剣でキラキラと輝いていました。

子ども達の表情を見ていると、行事を通して多くの職種の人との出会いが自分達の生活に関わっている大人がいることを子ども達に知らせていくことの大切さを感じます。

いろんな大人と出会って、子ども達自身が自分の心で何かを感じる・・・。その体験が多いほど、子ども達の心をより豊かにすることができると私は思います。そう考えると、このつばさ共同保育園での日々の生活の中で出会う、全つばさ子の保護者、祖父母とのちょっとした関わりも、子ども達の心の栄養になっているはず。ぜひ、そんな思いでつばさ子と関わってもらえればと思います。



暴れている暴漢をとり押さえるための防犯グッズ「さすまた」※当園には5本設置